



レディース通信 第17号

2019.1.8 東洋レディース in 静岡



新しい年が輝かしい一年でありますように



皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられたことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成 30 年度のレディースの活動と全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)及び箱根駅伝の応援・取材の報告をさせていただきます。

平成 30 年度活動報告

- 30. 4.22 静岡県支部役員会(静岡市クーポール)
- 5.20 女性連絡会総会(東洋大学) 代表出席
- 7.21~22 東洋大学校友会東海ブロック会議(岐阜市じゅろくプラザ) 代表出席
- 7.29 静岡県支部総会(浜松市コモンズ)
出席者の皆様に、レディース活動資金の募金に御協力いただき、ありがとうございました。
- 8.27 レディース役員会(磐田市会員宅)
- 9.17 講演会出席 講師 酒井俊幸監督(沼津市プラザヴェルデ)
- 9.19 レディース役員会(磐田市ハーモニー)
- 11.11 東洋レディース in 静岡の集い(磐田市)
- 11.18 静岡県支部役員会(クーポール)代表出席
- 12.26 レディース役員会(磐田市会員宅)
- 12.30 全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)応援・取材
- 31. 1. 2 箱根駅伝応援・取材
1.8~12 レディース通信第 17 号作成・発送(磐田市会員宅)

全日本大学女子選抜駅伝

平成 30 年 12 月 30 日、全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)の応援に行ってきました。結果は、過去最高の 9 位でした。

私は、他の校友達と共に、2 区と最終区で応援しました。寒波を心配しておりましたが、昨年同様、とても穏やかで暖かい天候に恵まれました。

最終区は 4 年生の浜松商業出身の森田選手。高低差 166 メートルを一気に駆け上がるコースで、女子駅伝としては、とても過酷なコースだそうです。でも、そんなコースを走って来た様には見えない走りっぷりで、とても感動しました。皆さんとこの感動をシェアしたいです。今年も出場するようでしたら応援に行きましょう！

箱根駅伝

平成 31 年 1 月 2 日、校友会静岡県支部で用意した大型バスで第 95 回箱根駅伝の応援に行ってきました。バスは満席で昨年以上に盛り上がりました。小雪がちらつき、昨年のような晴天ではなかったけれど、それ程の寒さを感じさせない日でした。

青山学院大、東海大を意識し、往路優勝はあまり期待していませんでしたが、私たちの前を 1 位で通過して行きました。結果は昨年同様、往路優勝。しかも新記録で！この感動は、その場にいなければ味わえないことだと、改めて思いました。

総合 3 位ではありましたが、11 年間 3 位以内という成績は凄いことです。来年は、総合優勝を期待したいです。(レディース代表 落合雅子)

第 13 回 東洋レディース in 静岡の集い

平成 30 年 11 月 11 日、磐田市で開催しました。参加者は 11 人で、見付天神社、旧見付学校(現存する日本最古の木造擬洋風校舎)、赤松邸(造船技術の先駆者となった海軍中将男爵の赤煉瓦造りの邸宅跡、娘は森鷗外と結婚、後離婚)、香りの博物館を見学。親睦会を兼ねた昼食は、話が弾み、時間をオーバーしてしまいました。



見付天神社

前列左より

落合雅子 川島洵子 塚本久美子 鈴木伸子

後列左より

谷口智子 大澤友子 井上真理子 大矢 恵

堀田章子 刑部花代子 関戸知子



赤松邸跡

レディースの集いに参加して

大矢 恵 (S.46 短英文卒 沼津市)

東洋レディースの会にやっと参加することができました。初めての参加で緊張していたのですが、役員の方がわざわざ磐田駅の改札口までお迎えに来て下さり、ホッとしました。

磐田市は、静岡県にいなながら訪れる機会もありませんでしたが、今回、参加者 11 名が車 2 台に便乗し、見付天神や旧見付学校など案内していただきました。車の中や見学をしながらいろんな方とお話することが出来たので、お昼の食事の時には幾分リラックス出来たように思います。お洒落なお店で美味しいフレンチを頂きながら、参加された方々の自己紹介を兼ねたお話を伺うと、皆さんそれぞれに活躍されていて人生を楽しんでいるようで、とてもよい刺激になりました。年代の様々な方と話をすることがあまりないので興味深く、同年代の方とは、学生時代の思い出話に花が咲きました。座が盛り上がり、時間の経つのも忘れ、予定の時間をオーバーしてしまっただけです。有意義な一日でした。



旧見付学校



シルク BC でランチ

わずかな会費でお土産まで頂き、鈴木伸子さんの手作りのバックや銀杏(この日のためにわざわざ取りに行ったそうです。感謝！)も頂きました。落合さんをはじめ、役員の方々の会をより良く



香りの博物館

しようとする思いが強く感じられました。そして、多くの方にぜひ参加していただきたいと思いました。



恩師の一言

東洋大学校友会静岡県支部長
笛木謙次 (S.47 国文卒 浜松市)

私が東洋大学を知ったのは、高校在学中の頃です。その当時、東洋大学出身の先生は 5 名くらい在任していたと思います。その中でも、特に熱い思いで教鞭を執っていた先生が私の恩師です。

その先生は学校の授業より生活指導の方が印象に残っています。なぜなら学校以外でも街頭補導をしたり、風紀を取り締まる親分でした。警察からも一目置かれ、生徒の間では頼もしく、または怖い存在でした。ちょっと粋がっている浜松の高校生にとって、その先生の名前を知らない者はいなかったと思います。

そんな熱血先生でも、実は人間臭い正直な一面もありました。元気が無い生徒には常に声を掛け、励まし、その存在感は大きく素晴らしいものでした。常に生徒の立場に立ち、善悪の判断を厳しく指導してくれたことも忘れてはならないと思います。



さて、先生の授業といえば、生活指導のときは全く逆で、おとなしく“ボンボン”と教えていました。しかし、話題が対人関係になると熱くなりました。

人に対する優しさ、思いやりを常に持つことが嫌がってやらないことを率先してやること。そのような話になると、決まって出てくるのは大学時代の思い出話。満面の笑みで語ってくれました。それは大学によほど良い印象をもっていたのだなと、思います。そして、話の最後に決まって“大学はいいぞ！



特に東洋はなっ！”と言われたのを覚えています。まるで東洋大の宣伝マンみたいでした。

そのようなことから私も東洋大を知り、志すようになりました。卒業後も指導してもらい、感謝しています。今になって思うのは、先生の指導の根本は、大学の理念である哲学があると思います。

私が卒業後家業につくと、早速先生がお見えになって役員会を予約してくれました。その時に《校友会》の存在を知りました。それが校友会活動の出発点でした。

あれから年月がたち、先生は存命していませんが、お世話になった先生の教えと思い出を深く刻み、校友会が末永く、益々発展することを切に願うものであります。

小鳥の思い出

関戸知子 (S.48 短国文卒 磐田市)

小鳥を飼ってほしいと頼まれた。手元に渡されたのは小さな箱に入った長い放浪の跡が見てとれるコザクラインコだった。艶のないバサバサの羽は惨めで、寂しそうにうずくまっていた。が、黒く小さく光る目に強い気力を感じ、緊張したのを覚えている。

一週間位して、物干し台に逃げ、そのまま西側の小山にゆったりとした飛行で消えた。私は道路を渡り、石だらけの短い坂を一気に駆け上がり、「トヨちゃん」を連呼、幸い木々の緑に映える黄色の鮮やかさで所在を確認し、胸を撫で下ろす。比較的近くに来たときは猫なで声で説得したりするが、暫し休戦。一旦家に戻ると、なんと、家のカイズカイクキの真ん中に、頭を上にし、華やかに止まり、アピールした。上空からしっかりついて来たのだ。少し難儀するが籠に落ち着いた。

そのうち結構成長しており、穏やかな鳥のような気がし、籠の中にいるよりも、と思い勇気を出して物干し台に乗せてみた。軒下や庭木、屋根で遊ぶうち、うっとりするほど美しい姿で大空を飛び、名前を呼ぶと瞬間に私の頭や肩に着地した。その一瞬とも言える速さたるや。

速さで思い出す鳥がいる。コザクラインコの二十年以上前、飼ってほしいと頼まれたのは、平凡かわいい目の説明つきの野鳥。

水を変える時に、目にも止まらぬ鋭い速さで竹の籠から消えた目白。気がついた時は社宅の小さな庭の五メートル先。私は渋いオリーブ色の後ろ姿を見送った。滞在は僅か一日。



その後トヨは草取りをすれば、その小さな嘴で同じ様に草を引張り、よろけたりして笑わせてくれ、私の姿を探し、Uターンの珍しい羽ばたきを見せ、愛らしさこの上ない愛嬌の数々を残してくれた。今から十五年位前の温かで大切な小鳥の思い出です。

東海ブロック会議に参加して

落合雅子 (S.55 短日本文 浜松市)

東洋大学校友会東海ブロック(愛知・三重・静岡・岐阜)の支部会議が7月21日(土)～22日(日)、岐阜市じゅろくプラザにて開催されました。初めての参加でしたが、とても親睦を深めることが出来ました。

夜は鵜飼観覧を予定しておりましたが、台風の影響で川底の具合が悪く、船の出入りが出来ず、中止になってしまいました。

残念ではありましたが、そのおかげで大相撲名古屋場所のテレビ中継をリアルタイムで見ることが出来ました。その日は、東洋大出身の御嶽海の優勝がかかった一番があり、校友一丸となって応援しました。優勝が決まった時は、鳥肌の立つくらい興奮しました。

堀岐卓郎支部長は、この優勝を予測し、前夜、「祝優勝」の横断幕を準備して下さり、宴会はとても盛り上がりました。

他県支部の方々とは、なかなか交流する機会が無かったのですが、今回会議に参加させていただき、とても良い思い出が出来ました。

磐田原の茶園



レディースの集いの折りに訪れた赤松邸跡で、観光ボランティアの方から赤松則良について話を伺いましたが、則良は近代日本の造船技術の先駆者であったばかりでなく、明治期に磐田原茶園の開墾に着手しました。

集いの日には、磐田市街を出ることはなかったので、茶園を目にすることはありませんでしたが、磐田原台地に緑の茶園が広がっています。

レディース代表挨拶

東洋レディース in 静岡の代表になって早3年、私に務まるかと不安と心配でいっぱいでした。川島さんと鈴木伸子さんのサポートのおかげで無事任務を終ることが出来そうです。来年度のお世話役は東部地区にお願いすることになりますが、これからも「東洋レディース in 静岡」が続いていくことを願っています。皆様、ご協力ありがとうございました。 落合雅子

編集後記

3年間、レディース通信の作成に携わってきました。皆様のご協力のおかげで無事任務を終了することが出来ました。ありがとうございました。

鈴木伸子 川島洵子